
桜鬼

桂まゆ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜鬼

【Nコード】

N6637G

【作者名】

桂まゆ

【あらすじ】

とある不動産会社の社員が、都心から離れた物件に客を案内する。「桜咲く木の下で」企画作品です。

(前書き)

この作品は、「桜咲く木の下で」というテーマの元に描かれた企画小説です。

知っていますか？

桜の下には、死体が埋められているとか。

変な話ですよね。

あんなに綺麗に咲いている桜の根本を掘って、どうして死体なんか埋めるんでしょうね。

ああ、売り物件の現場ですね。あと、一時間ほどで到着しますよ。都心からかなり離れていますからね。

でも、良いところですよ。お隣からはちょっと離れておりますし、最初は寂しく思われるかも知れませんが、そんなものは慣れです。通勤が二時間ですか。ちよつと遠いですね。しかし、楽しいマイホームに帰れるとなれば、二時間ぐらいすぐですよ。

あの建物、あの庭でこの価格です。これはお勧め物件ですよ。

ところで、ご存知ですか？

丑の刻詣で。

そう、あれですよ。わら人形。

あれって、桜の木に打ち付ける事が多いんですってね。聞いた事がありますよ。一本の木から数百の釘が出て来たんですってね。

何ででしょうねえ。

咲く時も一気に咲き、そして潔く散る。あの木を見て、人は何を思うんでしょうね。そして、どんな想いをぶつけているのでしょうか。

勝手に想いをぶつけられる桜が、私は不憫でならない。

釘をうちつけられ、どんなにか傷ついていることでしょう。

私だったらそんな邪念をぶつけられたら、すぐに狂ってしまいま

すよ。

それでも、樹は人間のそんな想いを受け止め、昇華させてくれて
いるんですね。自分がどんなに傷ついても。

だからね。

私は、そんな狂気をたまに感じるんですよ。

狂気が、桜を鬼にしているんじゃないかって。

花見をするよね、たまに狂ったように自分をさらけ出す人がいる
でしょ？ あれは桜の鬼に取り憑かれてるんじゃないかって。

触れてはならない。

触れれば、狂気があふれ出す。

何年、何十年、何百年の間に培われた痛みと狂気が。

ああ、変な話をしてしまいましたね。

このあたりの桜は、みんなソメイヨシノです。ソメイヨシノは成
長しやすく、寿命もそんなに長くありませんね。

多分、戦後に植えられたものでしょうね。

あ、見えて来ましたよ。

あれが、今回の物件です。

どうです？ ちょっと田舎ですが、広くて良い家でしょう？

このあたりは元々は旧家の別邸だったのですが、家が没落した後、
分譲されて新しい家が建ったんですよ。

没落の理由？

いや、それは私もは存じ上げませんね。しかし、これだけの広
さでこの価格の物件はめったにありませんよ。

それに、見て下さい。庭は当時のままなんです。

良い日本庭園でしょう？

しかも、あなたは運がいい。ほら、見て下さい。
当時から残っている桜がありますよ。

立派な木ですね。花も、もうすぐ見頃です。きっと、ここに住んでいた人々が春になるとこの桜を見て花見に高じていたのでしょうね。

かなり古い樹？ そうですか？ すみません。私の目には、さっき見たソメイヨシノとあまり変わらないと思います。

購入をお考えですか？

(後書き)

どうして、日本人は桜にこだわるのかな。

と、先日散った花を見ながら思いついた話です。読んでくださって
ありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6637g/>

桜鬼

2010年10月14日01時13分発行